Obituray of the Late Dr. Hiroshi ITO

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-11-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Kujira, Yukio メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00056130

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

pollen grains for slides mounted in silicone oil is 30-42.5×31.3-40 (av. 38.7×36.4) μm, and the size of pollen grains in glycerin jelly is 43.9-55.2×40.2-55.2 (av. 50.4×49.2) μm (measured in June, 1979) or 55-67.5×51.3-60 (av. 60.4×55) μm (measured in May, 1986). The endoaperture is an elliptic pore, 7×10-12.6 μm or 7.5-11.3×11.3-16.3 μm in diameter. The ectoaperture is meridional colpus, rarely narrowly open. The exine is tectate to tectate perforate, 3-3.5 μm in thickness. The endexine thickens around an endoaperture and below the edge of an ectoaperture, namely the costae. The endexine forms a tongue in the costate pore. The exine sculpturing is intrastriate and foveolate in the mesocolpium, and only foveolate in the apocolpium.

The morphological characters of fifteen fossil pollen grains of *Melia* obtained from the Late Pleistocene Kissawa Formation at three sites in the Oiso Hills are also present and common in the pollen grains of *Melia Azedarach* L. var. *subtripinnata* MIQUEL.

(Received June 11, 1986)

○ **伊藤　博先生を偲ぶ**（鯨　幸夫）Yukio KUJIRA : Obituary of the Late Dr. Hiroshi ITO.

伊藤　博先生は，昭和61年5月28日逝去されました。68歳でした。植物育種学が御専門の先生は，特に種子の長期貯蔵法の利用，開発に関する優れた業績を残されました。また，植物遺伝資源の探索，導入，保存に卓越した考え方を持たれ，国内はもちろん，世界各地へ出かけては，これらの重要性と問題点とについて指導されておりました。

研究者としての先生は，厳格さと同時に優しさと，すべてを抱み込む寛大さをもっておられました。作物の「品種」については，厳密すぎると思われる程の厳しい考え方を持っておられましたが，これは，植物の「種」の問題に起因する豊かな学識と経験とから派生してきているものでした。遺伝資源としての植物を考える時，一番重要なのは，植物地理，分類の専門家との協力だ。と，話しておられました。この種の研究は，まず自然生態系における第一次スクリーニングを行い，有用と思われる「種」，「変異」をpick upすることから始めなければならない。そういう意味で，植物地理，分類の研究者と農学研究者との相互協力が非常に重要になってくる。いたずらに技術論や方法論に走ることは危険であり，有効な方法ではないと話しておられました。

先生と人生を語った時，「僕は，水や空気の淀んでいる所が好きだ。何故なら，澄んだ美しい流れに変えることができるから。」と，話されたことがありました。先生の生き方を端的に表わしている気が致しました。常にActiveに，常に前向きに。この先生の生き方に対し私は深い感動を覚えたものでした。惜しむらくは，もう少し生きて，これからの学問の方向を見定めていただきたかった。大好きだった伊藤　博先生の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

（金沢大学教育学部，Faculty of Education, Kanazawa University, Kanazawa-shi, Ishikawa 920）

○　正宗厳敬　**日本の自生蘭　写真と図**　第2集　自己出版。昭和61年7月25日発行。A 4 判，64頁。定価8,000円。

昭和59年7月に第1集が発行されたが，その待望の第2集が今度出版された。本書に取り上げられた種類はカラフトアツモリソウ，セツコク，カヤラン，タシロラン，スズムシソウ，ベニシュスラン，ハマカキラン，キンラン，ガンゼキラン，ヤツシロラン，カクラン，ナリヤラン，シラン，マヤランの14種類である。

各種ともにその生育状況ならびに花の構造をしめし，詳細な記載を加えてある。蕊柱・柱頭・葯・花粉塊などの細部を写したカラー写真は，他書に類例を見ないものである。御註文は直接，正宗先生に申しこまれるとよい。（〒250 小田原市入生田423，振替口座横浜16040）

○　宮脇　昭編　**日本植生誌**　関東，至文堂（〒162 東京都新宿区西早稲田 2-11-13），昭和61年2月28日発行。B 5 判，642頁＋別冊（付表と植生図）。定価53,000円。

屋久島（1980），九州（1981），四国（1982），中国（1983），近畿（1984），中部（1985）に引続き，第7巻として発行された。巻末に，編者は歩いて来られた茨の道を振りかえり，その片鱗をもらして居られるが，その御努力に敬服申し上げる。本書の内容はまさにその30年余の調査の蓄積そのものに他ならぬ。（里見信生）